

第1回 意見交換会 要旨

開催日時

9月 27日(木)
19時 ~ 21時

市町村名

白馬村

グループ名

3班

要 旨

PM7:40 スタート

主催者側からの、この会の進め方について説明。このグループの名簿作成とその扱い方について、司会者と記録者を今から選出するようにと依頼。次回の開催日の決定について相談依頼。

メンバーからの質問

司会・記録を会のメンバーで担当すれば十分に意見交換が出来ないのでは?
この会の意見交換の主旨が明確でない。何を的に絞って話し合いとすれば良いのか、調査をしたという報告はあっても、その結果が示されないのでは意見の述べようがないのではないのか。

主催者側からの回答

司会・記録が片寄らないよう公平をきするためをお願いしたい。
調査資料は膨大な量に及ぶのでこの場で全てを明らかに出来ず、もしくは、その資料を汲み取るだけで時間を取られてしまうであろうから、現況を踏まえた会の皆さんの正直な思い、考えをこの場で明示して頂きたい。必要に応じて求められた調査結果(資料)は次回に提示して行きたい。

司会 氏に決定 次回は も加わる事。記録は 氏に依頼。 氏PM8:00に退席(次回の日程は 氏より連絡のこと)。

PM8:05 メンバー自己紹介開始。

PM8:10 メンバー自己紹介終了。意見交換スタート。席順にて。以下各メンバーの意見発言要約。

松本糸魚川連絡道路(地域高規格道路)を作るについては、反対意見も多いと聞いているが、しかし、索道事業、宿泊業に携わっている私の立場からすると、メリットが残ると考えているので、道路は必要だと考え、賛成である。いろいろな意見を聞いて進めてもらいたい。

- ・白馬村の主産業であるスキー観光客は平成元年と比較すると平成12年度は50%程度までに落ち込んでいるのが現状である。現在は高速道路から10km以内でないと発展しないとされており、白馬村活性化のためにも高規格道路は必要だと思う。
- ・高規格道路建設にあたっては、環境・景観に配慮し、地域住民の理解・賛同を得て建設する必要がある。(安全面・生活道路・通過道路等)。
- ・田中長野県知事は今回の意見交換会の結果を参考にし決断すると思うが、積雪時に来村し、交通渋滞の及び危険な状況を把握してほしい。
- ・オリンピック以前の活気ある状況が生まれ、景気回復につながるような道路整備を望んでいる。皆の声をきいて進めてもらいたい。

第1回 意見交換会 要旨

開催日時

9月 27日(木)
19時 ~ 21時

市町村名

白馬村

グループ名

3班

要旨

- ・索道事業に携わっている立場から豊科から数時間で白馬までつながればいいなと考える。
- ・自然環境に十二分に配慮し、自然景観を損なわないよう、住民の意見をくみつつ計画してもらいたい。
- ・現在、北陸道から長野へと一般道での大型自動車の通行が増大している。日々トラック等の騒音に悩まされ、多大な迷惑を被っている。住民の意見形成を重んじて、生活道路と通過道路を分ける等、改善策を見いだしながら、地域住民にプラスになる形で進めてもらいたい。
- ・現時点では地域高規格道路について詳しい知識をもっていないので、皆さんのいろいろな意見を聞き、よりよい形での道路形成について考えて行く所存である。
- ・前回の説明会より今回のように住民の声を聞く姿勢は評価できると思う。
- ・調査区間、整備区間を堀金村～大町市だけで、大町市～糸魚川市を調査しないまま実施に移されることは絶対に反対です。なぜなら技術的にも予算上からもずっと難しい大町市～糸魚川市の実現性を無視して見切り発車する事は、国の財政難などから、大町市～糸魚川市の工事が取り残されたまま、工事中止の可能性が大きいからです。そうなった場合、白馬村と小谷村の騒音公害等はさらにひどくなるでしょう。
- ・堀金村～大町市を調査区間とした理由を三つあげているが、初めからの二つの理由文はもう一度見直してほしい。とても本当だとは思えません。最後の小谷村はR148整備中の理由文は理由にはなりません。地域高規格道路を建設する目的とは関係ない理由で予算を何処にばらまくかの論理です。
- ・道路一本が人の命や生活を左右することを日々の行動の中で実感している。数十台もしくは十台前後の大型トラックがかなりのスピードでR148をとばしている現実の中で私を含め多くの村民が命の危険にさらされている。白馬村の中でもそれぞれの地域によって事情は異なると思うが、車も自動車も人(車椅子・老人・子供全て)も安全に快適に通ることができるような、日常の生活と充分結びついた有益な道路建設をめざして各地域の住民の心の声を集約して行政を進めてほしい。
- ・データとして出ている数字がいついかなる形でのものか、日付その他ははっきりさせていただかないと、正しい判断が出来かねると思う。次回明確にしてほしい。
- ・糸魚川までの迂回路があればと切に願うが、現実にそれを行うとすれば、今の時点ではとてもかないそうもない計画に思われる。どこをどのように通し、いつまでの実現化を計るのか等。行政側の構想が全くみえてこないのが不安である。
- ・大型車通過によるR148の白馬村における融雪道路部分の痛みが目をひく。その痛み具合、消耗の度合い、補修にかかる費用などデータを整理して提示していく必要があるのではないか。
- ・南小付近のR148の改修が柵上げになったとき、そのような県政では道路行政に疑問が残る。

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	9 月 27 日(木) 19 時 ~ 21 時		
市町村名	白馬村	グループ名	3班
要 旨			
<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路に変わる地域高規格道路は現在その実現に向けて計画をするに当たり、地域村民の意見を十分に聞き入れて作業を進めてもらいたい。また、この計画にあたっては将来白馬村が取り残されないよう村益につながることを第一と考える。JRの役割、国道148号線との連携、集落間の事情等に配慮した取り組みが必要と思われま。 ・今までは南部地区(松本から大町)の実現に向けて作業が進められていたように思うが、諸般の事情があるようなので、これからは北部地区(糸魚川、白馬、大町)の間を最優先して検討し、実現に向けて努力してもらいたい。 ・交通量の調査は全国一律に秋の10月に行ったものを取り入れていると説明があったが、観光立村の白馬村は夏山シーズン(海の日からお盆まで)と冬山シーズン(12月23日クリスマスの頃から3月末日まで)の間、村人口の何倍もの観光客が訪れ、マイカーの量も膨れあがる地域なので、土曜・日曜・祝祭日のいずれかを選び交通量の調査をして国道148号の実態を把握し、その資料を極めて得意な白馬の事情をpushしたケースとして取り入れてもらいたい。 ・松本・糸魚川道路100kmはいつ建設完成予定なのか。計画時期等明確に示すべきである。 ・周辺の道路交通状況を把握しているのか。特に糸魚川から高速道路(北陸・上信越道)を使わずに、国道148号・白馬村経由、オリンピック道で長野市・東京都圏への大型車両の通行が激増している。 ・道路に限らず、鉄道を含め、「総合交通網」で地域の生活、産業等を検討することが大切である。 ・松本糸魚川間100kmを糸魚川から白馬村を經由して、既存国道406号を改良整備して、長野市、東京首都圏への車両の通行を図ってはどうか。(406の調査も視野に入れて) 			

第1回 意見交換会 要旨

開催日時

9月 27日(木)
19時 ~ 21時

市町村名

白馬村

グループ名

3班

要旨

- ・高規格道路(松本系魚川連絡道路)は必要であると思います。
- ・道路を作るならば明科から東側を通る路線でアルプスを望めるパノラマ道路、観光にも活かせる道路として戴ければと考えます。
- ・現在、大町市以北、築場の地域でR148号、1本に絞られゴールデンウィーク、お盆、冬期間等は交通渋滞となり、緊急時の対応がスムーズに行かない現状であることを実感しております。
- ・また白馬以北においても、先の豪雨災害の時、148号線が寸断され、大変不便であり、日常生活においても支障がでました。災害に強い道路をもう1本作ってほしい。迂回路とされた道路は大変危険を伴う道路であったことを含めて、また現148号線においては夜間大型の定期便の通行量が多く、大変危険であると共に、安眠妨害を起こしており、不眠病になる人もおります。自動車専用道路が早急にも必要であると思います。
- ・景観・自然環境については地震にも強いトンネルを多く採用して戴ければ自然破壊は防げると思う訳であります。

- ・田中県知事には冬期、ピーク時、雪道で混雑を催す白馬村の道路を初めとして困難に遭遇している県民の実状をしっかりと把握するためにも、その現状の視察をしていただくことを切に熱望する。

次回の資料要求「別紙プリント」これまでの調査一覧参照

地域の現況調査の結果

将来の交通量予測の様相

区間事の優先度の検討 - どのように検討されそういう結論に達したのか。

機略ルートの検討 - 現在の構想の全体像、各地区の調査結果は?

以上 ~ でこれからの話し合いの展開に関する資料を次回に明らかにしていただきたい。

次回の日時確認 平成13年10月15日(月)午後7時より 役場会議室

閉会PM9:00